

第 32 回「福島第一原子力発電所廃炉検討委員会」
議事録概要（案）

◇日時：2021年7月13日（火）16:00-18:00

◇場所：Webex 会議

◇出席者（敬称略）：

（委員長）宮野

（副委員長）関村、岡本

（幹事）浅沼、越塚、鈴木、高田、瀧口、藤田、柳原、山本、吉見

（欠席：阿部、早瀬）

（委員）林道、山内、出光、内田、高木、大隅、加治、高田、渡邊、服部

安部、成宮、川原、矢板、川崎、中野、可児（運営タスク）

（欠席：安部田、小西、奈良林、竹田）

（オブザーバー）石原、中村（エネ庁）、中村（NDF）、今村、大橋(IRID)、

長谷部（化学工学会）、駒野（学会元会長）、田中（学会元理事）

富田（学会事務局）

◇議事

0. 委員長挨拶

宮野委員長より開会のあいさつがあった。

1. 前回第 31 回廃炉検討委員会議事録および議事概要の確認

前回第 31 回廃炉検討委員会議事録案および議事概要案を確認した。

2. 廃炉委の運営

(1)委員リスト

(i) 廃炉委

廃炉委 委員リストを確認した。委員リストは 6 月の理事会で承認され、7/1 より新任期（3 年）が始まったことが紹介された。幹事の交代について報告され、承認された。オブザーバの変更について紹介があった。

(ii)分科会委員リスト

分科会委員リストについて確認した。委員の所属変更について紹介があった。

(2)2021 年度 廃炉委活動計画

2021 年度の廃炉委活動計画について説明があった。廃炉委シンポジウム、分科会の活動内容、社会とのコミュニケーションの進め方、国際会議 FDR2022 の活動などについて、詳細は今後委員会内で議論していくとの説明があった。

(3)2020 年度 活動報告書案

2020 年度の活動報告書案の内容について説明があり、今月中に廃炉委の HP に掲載予定であることが説明された。

3. シンポジウム・企画セッション・廃炉委 WS

(1)廃炉シンポジウム(6/12)報告

6/12 に開催された廃炉委シンポジウムについて報告があった。参加者数は 282 名で、当日のプログラム、シンポジウム内での議論やコメント、アンケートの集計結果について紹介があった。

(2)秋の大会企画セッション 計画

原子力学会 2021 年秋の大会での廃炉委企画セッションの計画について説明があった。セッションの日程は 9/9 で、技術開発にフォーカスするセッションとしてプログラム編成を行ったこと、講演資料は廃炉委 Web サイトにセッション開催日の 2,3 日前に掲載予定であることが説明された。

また、2021 年春の年会の企画セッションにおける質問とその後の対応について紹介があり、廃炉委の HP への掲載可否について審議を行った結果、企画セッションでの議論について公開して役に立つものは公開する方針とすることが了承された。

(3)FDR2022 準備について

廃炉国際会議 FDR2022 の計画について説明があった。日程は 2022 年 5 月 19-22 日、J ビレッジでの開催を計画していること、組織委員会やトラックリーダーの体制について検討中であることが説明された。

(4)今後の廃炉委 WS の展開

今後の廃炉委 WS の計画について説明があった。テーマとして耐震機能維持と機能維持の考え方について設定していることが紹介され、今後のテーマの提案と、WS への参加をお願いしたいと依頼があった。

4. 分科会の活動状況

(1)強度基準検討分科会 検討状況と課題・展望

分科会の活動状況について報告があった。事故炉である 1F の強度評価のあり方の体系化を目的に検討を実施していること、「強度評価の体系化」の考え方と管理状態評価フロー、3 号機 S/C を例としたフローの検討例、および今後の予定について紹介があった。

(2)分科会活動状況

建屋の構造性能検討分科会、ロボット分科会、廃棄物分科会から活動状況の概要が報告された。

5. 関係機関から話題提供

○ FP 研究専門委員会技術報告書の概要

FP 研究専門委員会で発行した報告書の内容紹介と、新研究専門委員会の計画について紹介があった。

6. その他

- ・次回の日程は、9/7(火)10:00~12:00 を候補として調整する。

以上